

<ホームページへの掲載文章>

平成 20 年 1 月から平成 22 年 12 月までに大腿骨近位部骨折（大腿骨転子部骨折、大腿骨頸部骨折）のために入院し、手術を受けられた患者さまへ

課題名：大腿骨近位部骨折患者の摂食・嚥下機能に関する調査

#### ○研究の概要

足の付け根に当たる股関節のところで骨折され、大腿骨転子部骨折あるいは大腿骨頸部骨折と診断され、入院のうえ手術とリハビリテーションを受けられた患者さまのカルテからデータを調査いたします。年齢、性別、原因疾患、手術の内容、X線写真、血液検査の結果、リハビリテーションの内容などについて調べ、摂食・嚥下機能（食べ物を嚙んだり、飲み込んだりする機能）や誤嚥（間違っって気管に食べ物や唾液が入ること）による肺炎の有無について検討します。

#### ○対象となる患者さま

平成 20 年 1 月～平成 22 年 9 月に大腿骨近位部骨折（大腿骨転子部骨折、大腿骨頸部骨折）のために入院し、手術とリハビリテーションを受けられた患者さま

#### ○実施場所

川崎医科大学リハビリテーション医学教室、整形外科教室

#### ○個人情報の保護について

調査したデータは、本研究の目的以外に使用することはありません。また、調査の結果を学会発表などで公開する際には、患者様それぞれの名前や生年月日、等の個人情報が他の人々に知られることは一切ありません。調査した個人情報のデータは鍵付き保管庫に保管し、パソコンでの解析は個人情報を削除して行います。

※データの取り扱いに対する拒否は可能です。対象となる患者さまで、データ使用を拒否される方は、お手数ですが下記のお問合せ先までご連絡ください。

#### ○研究期間

倫理審査承認後～平成 24 年 3 月 31 日

#### ○お問合せ

メールアドレス tsuba@med.kawasaki-m.ac.jp

主任研究者 川崎医科大学リハビリテーション医学教室 教授 椿原 彰夫

Tel. 086-462-1111(内線 44423)